

WedsSport

YOKOHAMA

SHINKO

OGURA
CLUTCH

MIE TOYOPET

NUTECH

Jms
Dr-LiC

OKANO
Express

IGNITION POINT

DiESELAID

FUJITSUBO
EXHAUST SYSTEMS

BRIDE

宮田自動車商会

voodoo ride



WellVets
— Animal Welfare Group —

KDC
DENTAL CLINIC

GLOBAL
LIGHT SYSTEM

Daystar fire
タイヤカーボンカブ

TAMACHI

RACING PROJECT
BANDO

『2年ぶりのオートポリスは想定外の厳しい戦いに』



シリーズ名：2021 AUTOBACS SUPER GT シリーズ

大会名：2021 AUTOBACS SUPER GT Round 6 AUTOPOLIS GT 300km RACE

レース距離：1周 4.674km×65周 (303.81km)

10月23日(土)

予選 Q1：国本選手 14位

□天候：晴れ | 路面：ドライ

10月24日(日)

決勝 13位

□天候：晴れ | 路面：ドライ

予選

天に恵まれ、気温が16度とレース日和の中、2年ぶりの第6戦がオートポリスで開催されました。

前戦の菅生で炎上に見舞われた19号車は懸命の修復により、エンジン交換無しで参戦する事が出来ました。関係者、メカニックさんに感謝致します。

午前中の公式練習の結果は、朝のコンディションは路面が出来ていなかったため、エンジンチェック後ピ



ットで待機。2種類のタイヤを宮田選手が確認し、国本選手のロングラン確認。その後 GT500 占有走行を国本選手が走行し、1:34.148 の 14 番手に終わったが、予選に向けてセットアップを変更した。

Q1 のアタックドライバーは国本選手。
16 号車が先陣を切ってコースイン。残り 9 分を切って 19 号車がコースイン。その後、残りのホンダ勢と日産勢。

トヨタ勢は 8 分を切ったあたりで 1 台が、残り 6 分半で残りの 3 台がコースインし、激しいタイム争いが始まる。タイヤを暖め、残り 3 分を切るあたりでアタックに入った 19 号車は予選残り時間 1 分 20 秒で 1:33.174 を出すが、他車のアタックがそれを上回り、結果 14 番手で Q1 を終了する事となりました。Q1 の結果は、16-64-14-8-39-23-17-34- (以下 Q1 敗退) -24-38-12-36-1-19-3 となります。

Q2 は 16-14-64-8-23-37-17-39 の順となります。明日の決勝は後方からの追い上げとなりますが、表彰台を目指し爆走していきます。

明日は荒れるレースだと思うのでまずは目標を確実に結果にする為焦らず戦います。



予選コメント

【国本選手】



14 番手でした。朝からあまり良いフィーリングではなく、予選で挽回できると思ったのですが難しい予選になってしまいました。ミスなくアタックはでき、その中で課題もみつける事ができました。明日は 14 番手スタートですがオートポリスはトラフィックやタイヤにも厳しいサーキットですので決勝は作戦とタイヤマネージメントをしっかりし、上手く戦ってポイント獲得を目指します。

【宮田選手】



フリー走行で色々確認をしたのですが厳しい予選となりました。決勝は追い上げていきます。また茂木、富士に繋げられるようなレースをしたいと思っています。

WedsSport

YOKOHAMA

SHINKO

OGURA CLUTCH

MIE TOYOPET

NUTECH

Jms

OKANO Express

IGNITION POINT

DIESLAID

FUJITSUBO EXHAUST SYSTEMS

BRIDE

宮田自動車商会

WOODOO RIDE

WellVets
— Animal Welfare Group —

KEC
KAWASUMI
KAWASUMI CLINIC

GLOBAL
GLOBITZ CHRYSLER

Quaray fire
タイヤカーボンカワ

TAMACHI

RACING PROJECT
BANDOH

【坂東監督】



まずは菅生で車両火災が起きた後にエンジンが無事だった事、メカニックの賢明な作業により、全てが元通りに戻った事にほっとしています。

フリー走行と予選は

路面状況が変化する中、難しい走行となりました。やはり事前にテストが出来てない分、ダウンフォースとタイヤのバランスが難しかったです。

ドライバーには申し訳ない。明日は何が起きるか？わからないので確実にデータ取りとポイントを獲得できるようにチーム力で戦います。

決勝

予選とは異なり、曇り空のオートポリスで開催される第6戦。全車今季最大のサクセスウェイトを積んだレースとなりました。

決勝前のウォームアップ走行では1:39.358と15番手タイムであったが、ロングランでタイヤ確認、決勝に向けてセッティングを煮詰めていった。

スターティングドライバーは国本選手。サクセスウェイトは40kg。14番手スタートと厳しい条件だが、表彰台を目指して爆走開始。

午後1時半にフォーメーションラップが開始され、2周を経てローリングスタート。オープニングラップでタイヤのウォームアップが他メーカーと違い一つ順位を落とし15位。4周目に3号車をパスして14番手に上がるが、7周目に再び3号車にパスされる。エンジン交換をした3台のスーパーがペナルティを消化した10周目に12位となる。

10周目にヘアピンで300クラスがクラッシュしたため、FCYが出て、11周目にセーフティカーが入った。17周目にSCが外れ、レース再開。18周目にトップの16号車がトラブルで戦線離脱し、順位を一つあげる。19周目に300クラスの車両がクラッシュしたため、2度目のSCが入った。25周目にレース再開し、直後に19号車を含め、6台がピットに入る。19号車はピット作業とドライバーチェンジを行い、ピット作業やピット後のアウトラップでの駆け引きが出た中、ピット組で順位が目まぐるしく代わり、19号車は27周目には暫定12番手となった。いち早くピットに入ったチームが有利に働いたピット作戦は29周目にトップの64号車が入り、全車一回目以上のピット作業を行った30周目の19号車の順位は9番手となる。





32 周目 7 番手争いの 4 台のうちの 1 台となった 19 号車は、11 番手で前の 3 台の争いを虎視眈々と狙っていたが、33 周目に 37 号車をパスして 10 位となるが、後ろから追いつけてきた 17、3 号車にパスされ、37 周目に 12 位、38 周目には 38 号車に、39 周目に 37 号車にパスされ 14 位となる。タイヤのピックアップの問題もあり、再び作戦を変更し、43 周目に二度目のピットインをして 14 番手のままコース復帰。49 周目に 24 号車がピットインした為、13 位に順位を上げた。19 号車はそのままのポジションでチェッカー。13 位にてレースを終えました。

レースはオープニングラップで 14 号車がトップの 16 号車をパスして逃げに入るが、エンジン交換に伴うペナルティ消化の為に 7 周目にピットに入り、16 号車がトップに返り咲くが、1 度目の SC 明けにトラブルで戦線離脱。64 号車がトップとなるが、直後の 2 回目の SC 後のピット戦略でトップに躍り出た 8 号車が 30 周以上トップを守りチェッカー。2 位は終盤の 2 番手争いで前に出た 38 号車、3 番手は 23 号車となり、以下、3-39-1-12-17-37-36-14-64-19-24- (以上完走) - 16 となりました。

悔しい結果となりましたが、次戦からサクセスウェイトが半減となります。次戦は今年 2 位だったツインリンクもてぎなのでポルトウウィンしか狙ってません。皆様の応援、誠にありがとうございました。

次戦 (Round.7) は 11 月 6 - 7 日ツインリンクもてぎにて開催されます。

決勝コメント

【国本選手】



厳しい週末になってしまいました。

路面変化が大きいサーキットでしたが 19 号車は土曜日から想定外のグリップ不足に悩まされました。荒れるレースだと想定していたのでタイヤをセーブしながら走行していました。しかしオーバーテイクをするまでには至りませんでした。セフティーカー明けは前の車にも追いつけていましたし、また後ろとの車とのギャップを付けることも出来、後半スタントに違うタイヤを選択すればなんとかなるか





な？と思ったのですが後半も厳しいステイントとなってしまいました。荒れるレースだからこそチーム力を発揮したかったのですが何も出来ず悔しかったです。ただ持ち込みタイヤの中でもパフォーマンスが高いタイヤや方向性が見つかって良い部分もありました。次のレースに生かせるようにチーム、横浜タイヤ、TCDと連携を取って残り2戦戦います。応援ありがとうございました。

【宮田選手】



厳しいレースでした。

上位と戦えるポテンシャルはなかったです。

タイヤのピックアップ等で自分のステイントで2回ピットになってしまいましたが確認できることもありましたが次戦以降に生かします。

次の茂木、富士は相性が良いと思ってるので、ポールポジション、優勝を目指して頑張ります。

応援ありがとうございました。

【坂東監督】



悔しいの一言ですね。

ピット作業は菅生に続き速かったです。

ウォームアップ時に2台抜かれてしまいましたがピット出口での順位は7番でした。

その後、後退してしまいましたが作戦面も踏まえて自分に責任があります。荒れたレース程、チーム力も試されるので残り2戦2人のドライバーに満足してもらえるよう今から準備します。